

令和3年度上越市美術展覧会 第2回運営委員会

次 第

日時 令和3年9月23日（木・祝） 午後1時から

会場 高田城址公園オーレンプラザ 多目的室

1 開 会

2 運営委員長あいさつ

3 報 告

- ・市制施行50周年 第50回記念上越市美術展覧会出品状況

4 議 題

- ア 実施概要について（公開）
- イ 展示レイアウトについて（公開）
- ウ 部門別入賞点数及び佳作点数について（公開）
- エ 審査担当部門について（公開）
- オ 審査上の注意点（公開）
- カ 講評原稿の作成について（公開）
- キ その他（公開）

5 閉 会

上越市美術展覧会運営委員名簿

【任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日】

No	部門	氏名	役職等
1	日本画	洞谷 亜里佐	上越教育大学 教授
2		小林 充也	日展会友
3	洋画・版画	筑波 進	日本美術家連盟会員
4		五十嵐 正	市展無鑑査
5	彫刻・立体造形	松尾 大介	上越教育大学 教授
6	工芸・グラフィックデザイン	大藏 豊彦	日本工芸会正会員
7		兪 期天	上越教育大学 講師
8	書道	押木 秀樹	上越教育大学 教授
9		山田 真一	久比岐野書道会 会長
10	写真	藤野 正二	日本写真協会会員
11		関 敏雄	日本写真協会会員
12	学識経験者	齋藤 祐介	新潟日報社 上越支社長

市制施行50周年 第50回記念上越市美術展覧会出品状況

合計 / 出品者数 (公募)	年度						比較増減 R3-R1
	部門:部門	H27	H28	H29	H30	R1	
1 日本画	14	9	9	13	14	9	▲ 5
2 洋画・版画	124	107	103	109	112	109	▲ 3
3 彫刻・立体造形	8	13	6	7	11	11	0
4 工芸・グラフィックデザイン	34	20	15	18	21	23	2
5 書道	56	52	57	44	51	49	▲ 2
6 写真	94	87	97	81	84	74	▲ 10
総計	330	288	287	272	293	275	▲ 18

合計 / 出品点数 (公募)	年度						比較増減 R3-R1
	部門:部門	H27	H28	H29	H30	R1	
1 日本画	16	10	9	14	15	10	▲ 5
2 洋画・版画	130	119	112	113	123	115	▲ 8
3 彫刻・立体造形	8	14	7	7	11	12	1
4 工芸・グラフィックデザイン	38	22	16	22	27	28	1
5 書道	57	53	61	47	53	52	▲ 1
6 写真	132	122	135	114	122	113	▲ 9
総計	381	340	340	317	351	330	▲ 21

合計 / 出品点数 (無鑑査)	年度						比較増減 R3-R1
	部門:部門	H27	H28	H29	H30	R1	
1 日本画	7	8	8	7	8	4	▲ 4
2 洋画・版画	19	19	19	18	18	13	▲ 5
3 彫刻・立体造形	2	3	2	2	2	1	▲ 1
4 工芸・グラフィックデザイン	6	4	4	3	4	3	▲ 1
5 書道	27	26	28	29	26	27	1
6 写真	7	6	8	7	5	3	▲ 2
総計	68	66	69	66	63	51	▲ 12

市制施行 50 周年 第 50 回記念上越市美術展覧会 実施概要

1 会期

令和 3 年 10 月 2 日（土）～10 日（日）[9 日間] 午前 10 時～午後 6 時

※2 日（土）午前 9 時 30 分から表彰式、開場式を実施、10 日（日）は作品返却のため午後 4 時まで

2 会場（各部門展示場）

会場施設名	部屋名	部門
高田城址公園 オーレンプラザ	ホール	日本画 洋画・版画
	研修室・会議室	彫刻・立体造形 工芸・グラフィックデザイン
	スタジオ	第 50 回記念企画特別展
ミュゼ雪小町	ギャラリー	書道
	A・B・C	写真
	多目的室	写真

3 作品審査

9 月 23 日（木・祝）午後 1 時～ 運営委員会 [入賞数・佳作数を決定]

午後 2 時～ 審査①【彫刻・立体造形】

25 日（土） 午後 2 時～ 審査②【彫刻・立体造形を除く 5 部門】

【審査員】

- ・日 本 画 倉島 重友（日本美術院同人、広島市立大学名誉教授）
- ・洋 画 ・ 版 画 藤嶋 俊會（美術評論家）
- ・彫刻・立体造形 中村 義孝（一陽会運営委員、筑波大学名誉教授）
- ・工芸・グラフィックデザイン 太田 公典（愛知県立芸術大学名誉教授、瀬戸陶芸協会会長）
- ・書 道 岡村 浩（越佐文人研究会代表、新潟大学教授）
- ・写 真 林 義勝（日本写真家協会会員）

4 表彰式・開場式

- ・日 時 10 月 2 日（土）午前 9 時 30 分～
- ・会 場 高田城址公園オーレンプラザ ホール前
- ・主催者 市長、運営委員長、新潟日報上越支社長、運営委員
- ・来 賓 上越市議会議長、文教経済常任委員長

5 第 50 回記念企画特別展

- ・会 期 12 月 4 日（土）から 26 日（日）まで
- ・会 場 小林古径記念美術館（上越市本城町 7-1）
- ・内 容 市展 50 回記念賞、優秀賞の受賞者作品を展示

市制施行 50 周年 第 50 回記念越市美術展覧会 審査等スケジュール

【彫刻・立体造形部門】

■ 9 月 23 日（木・祝）

時 間	内 容	会 場
11:24	送迎（上越妙高駅～高田城址公園オーレンプラザ）	（移動）
11:45～13:45	昼食・休憩	高田城址公園 オーレンプラザ
14:00～	運営委員との顔合わせ （審査時確認事項の説明等を行います。）	
14:15～15:30	作品審査	
15:30～16:30	講評原稿作成	
16:40～16:50	送迎（高田城址公園オーレンプラザ～アートホテル上越）	（移動）

【彫刻・立体造形部門を除く 5 部門】

■ 9 月 25 日（土）

時 間	内 容	会 場
～12:30	送迎（上越妙高駅または高田駅～高田城址公園オーレンプラザ）	（移動）
12:45～13:15	昼食・休憩	高田城址公園 オーレンプラザ
13:30～	運営委員との顔合わせ （審査時確認事項の説明等を行います。）	
14:00～16:30	作品審査	
16:30～17:30	講評原稿作成	
17:30～	送迎（審査会場～アートホテル上越または上越妙高駅）	（移動）

令和3年度 第50回記念上越市美術展覧会 展示レイアウト
オーレンプラザ会場【全体】

<凡例>

- 受付
- 動線
- ベルトパーテーション

彫刻・立体造形
工芸・グラフィックデザイン
[研修室・会議室]

特別展示
[スタジオ]

日本画
洋画・版画
[ホール]

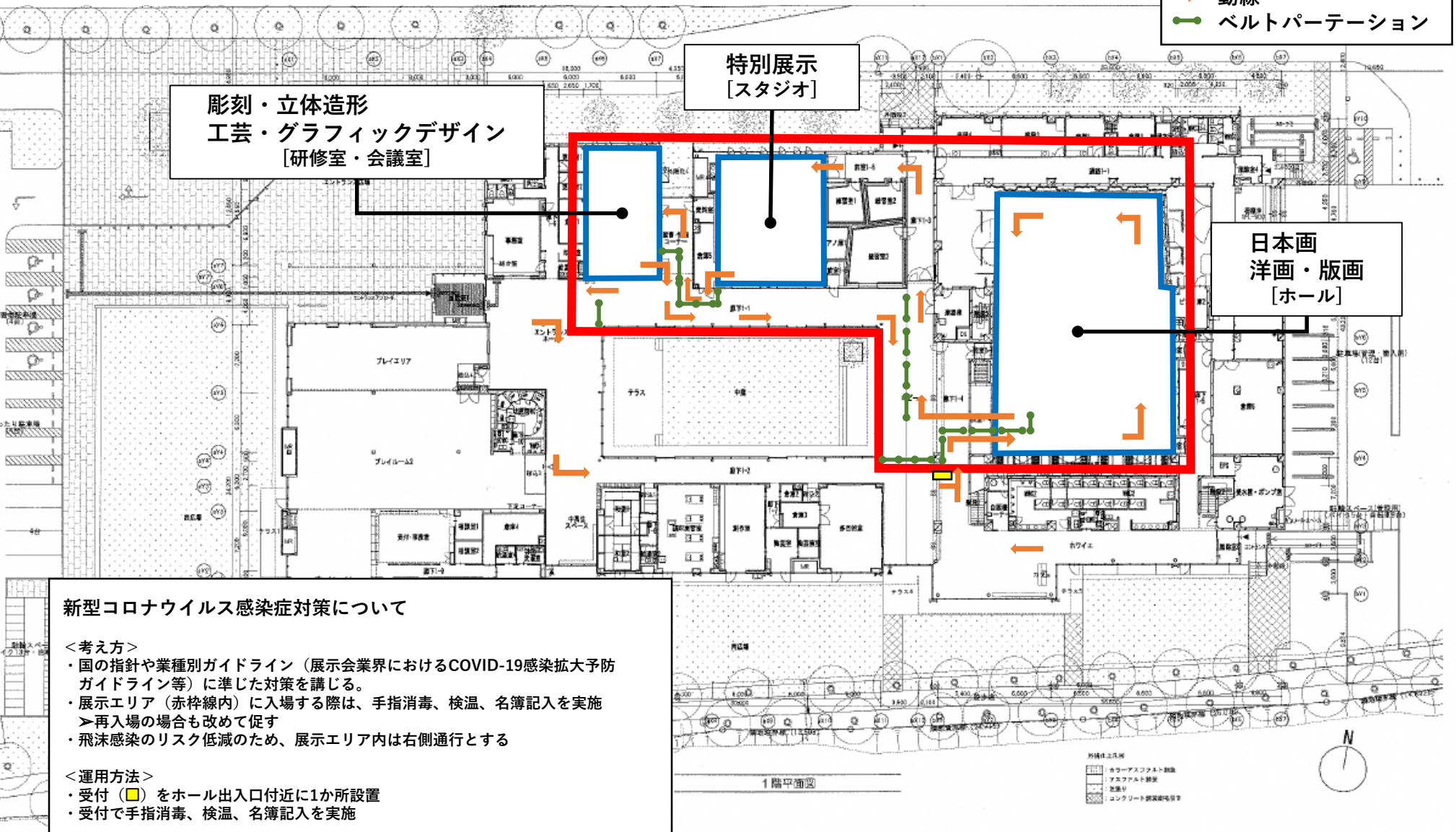
新型コロナウイルス感染症対策について

<考え方>

- ・国の指針や業種別ガイドライン（展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン等）に準じた対策を講じる。
- ・展示エリア（赤枠線内）に入場する際は、手指消毒、検温、名簿記入を実施
>再入場の場合も改めて促す
- ・飛沫感染のリスク低減のため、展示エリア内は右側通行とする

<運用方法>

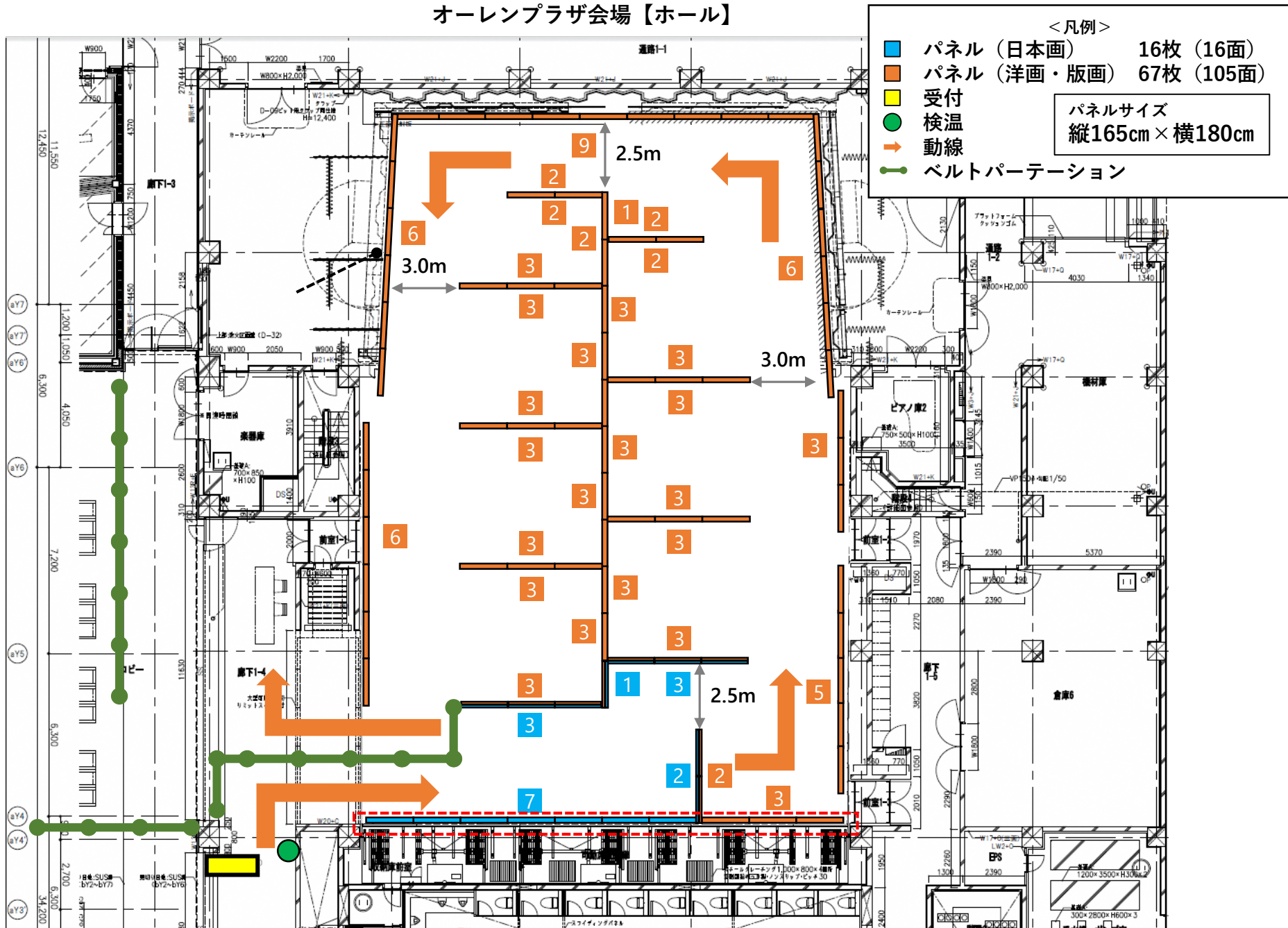
- ・受付（）をホール出入口付近に1か所設置
- ・受付で手指消毒、検温、名簿記入を実施



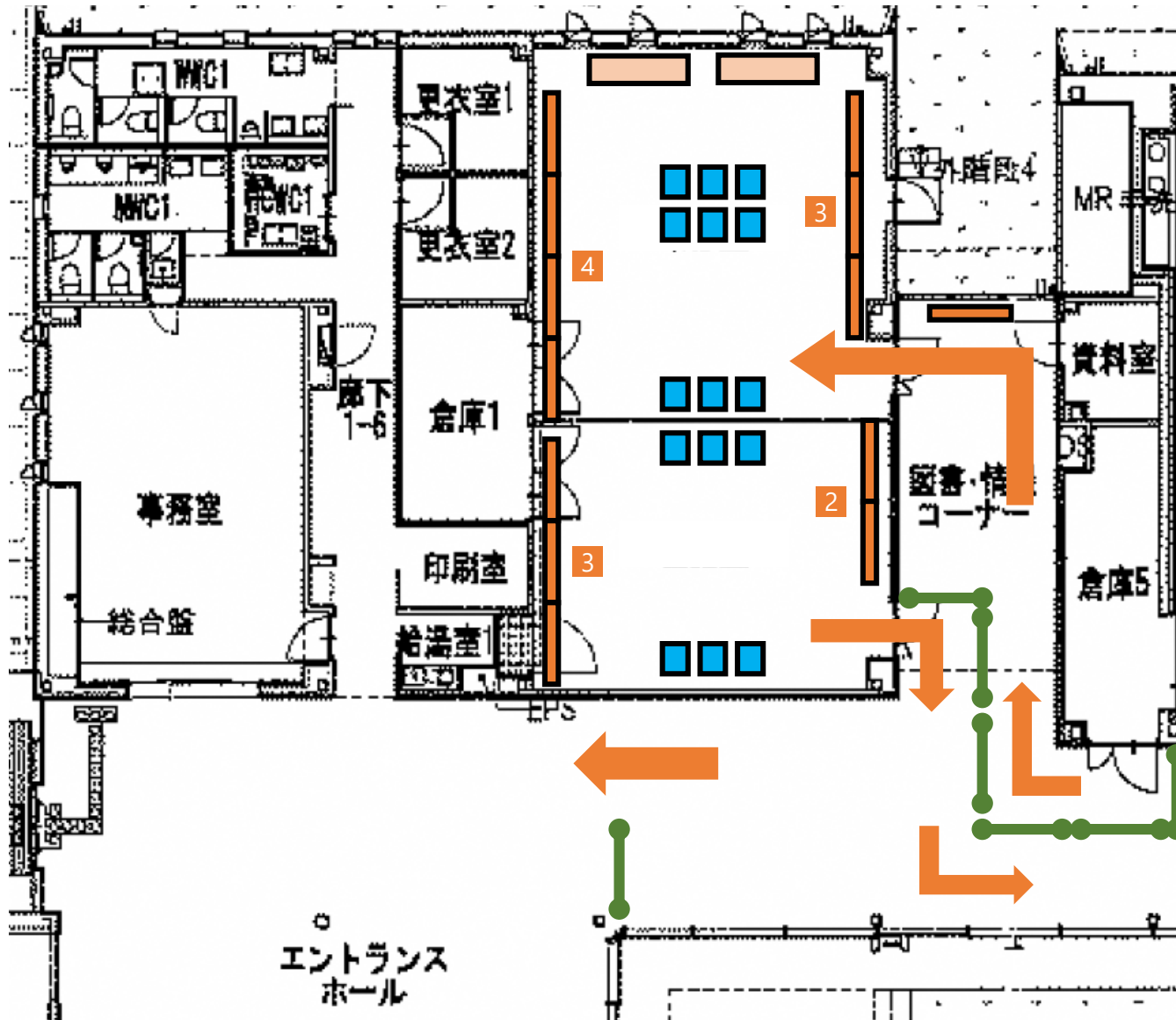
所轄庁名称
 コーポラスフロント施設
 アスファルト舗装
 遊歩機
 コンクリート舗装(電線埋設)

1階平面図

令和3年度 第50回記念上越市美術展覧会 展示レイアウト
オーレンプラザ会場【ホール】



令和3年度 第50回記念上越市美術展覧会 展示レイアウト
オーレンプラザ会場【研修室・会議室】



<凡例>

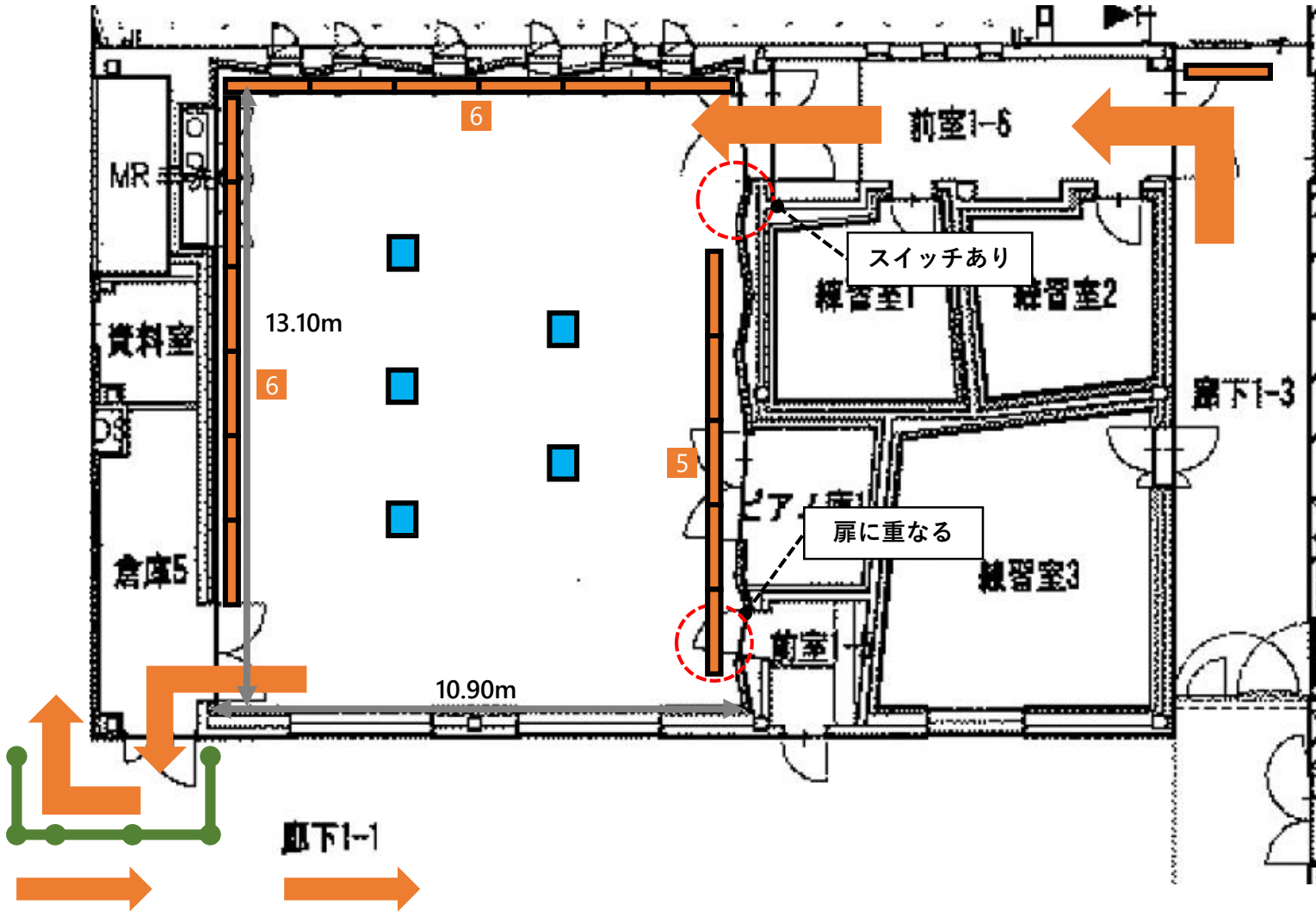
- 首台（彫刻・立体造形） 15台
- パネル（工芸・グラフィック） 12枚
- 展示台（工芸・グラフィック） 2台
- 受付
- 検温
- 動線
- ベルトパーテーション

パネルサイズ
縦165cm×横180cm

令和3年度 第50回記念上越市美術展覧会 展示レイアウト
オーレンプラザ会場【スタジオ】

パネルサイズ **縦180cm×横165cm**
※ホール、研修室・会議室とは向きが異なる

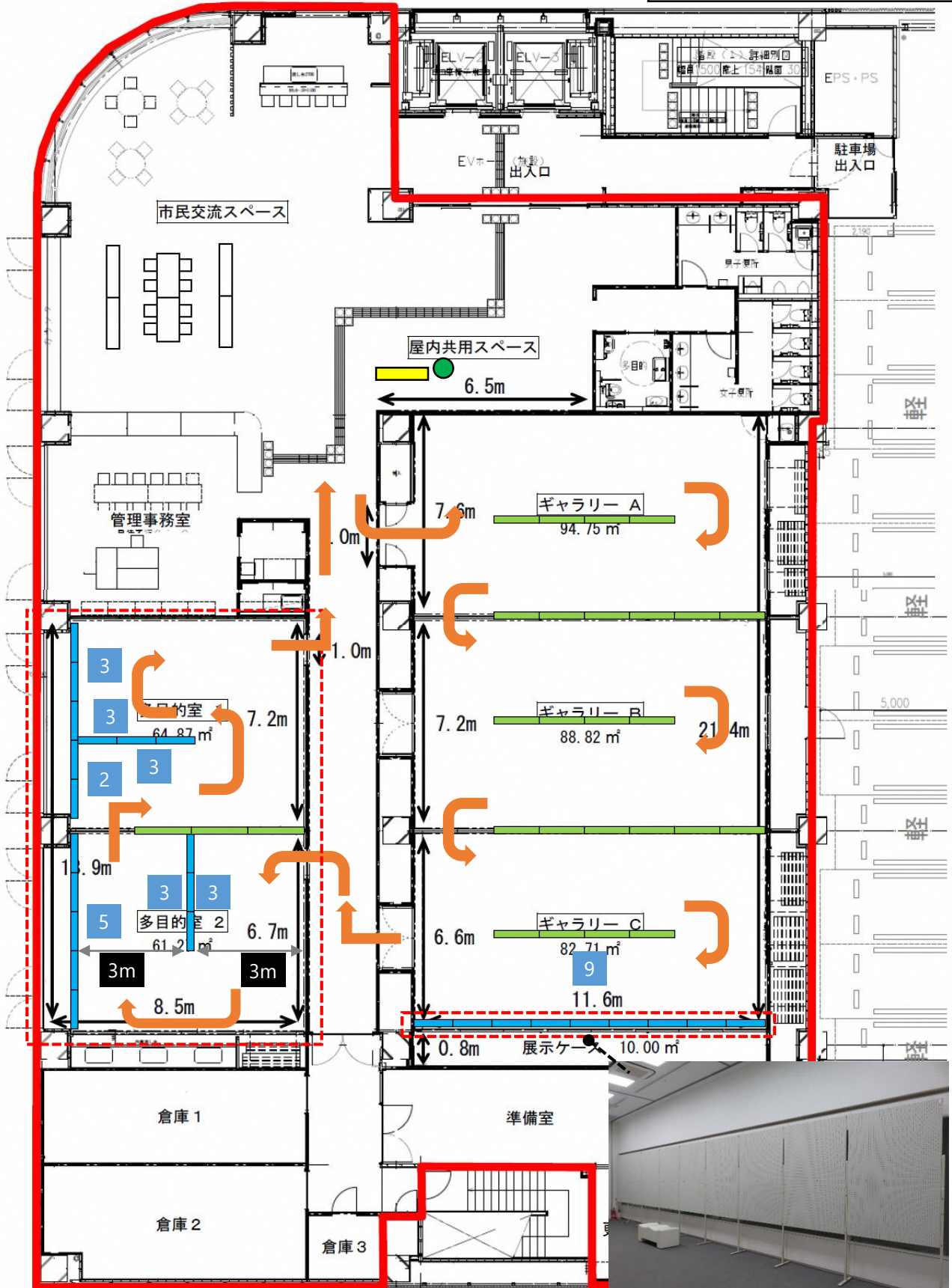
- <凡例>
- パネル 17枚 (4部門×3人)
 - 首台 5台 (2部門)
 - 動線
 - ベルトパーテーション



令和3年度 第50回記念上越市美術展覧会 展示レイアウト
 ミュゼ雪小町

<凡例>
 25枚 (31面)
 パネルサイズ
 縦180cm × 横120cm

- パネル
- 受付
- 検温
- 動線



市制施行50周年 第50回記念上越市美術展覧会 部門別入賞点数及び佳作点数について

■入賞数

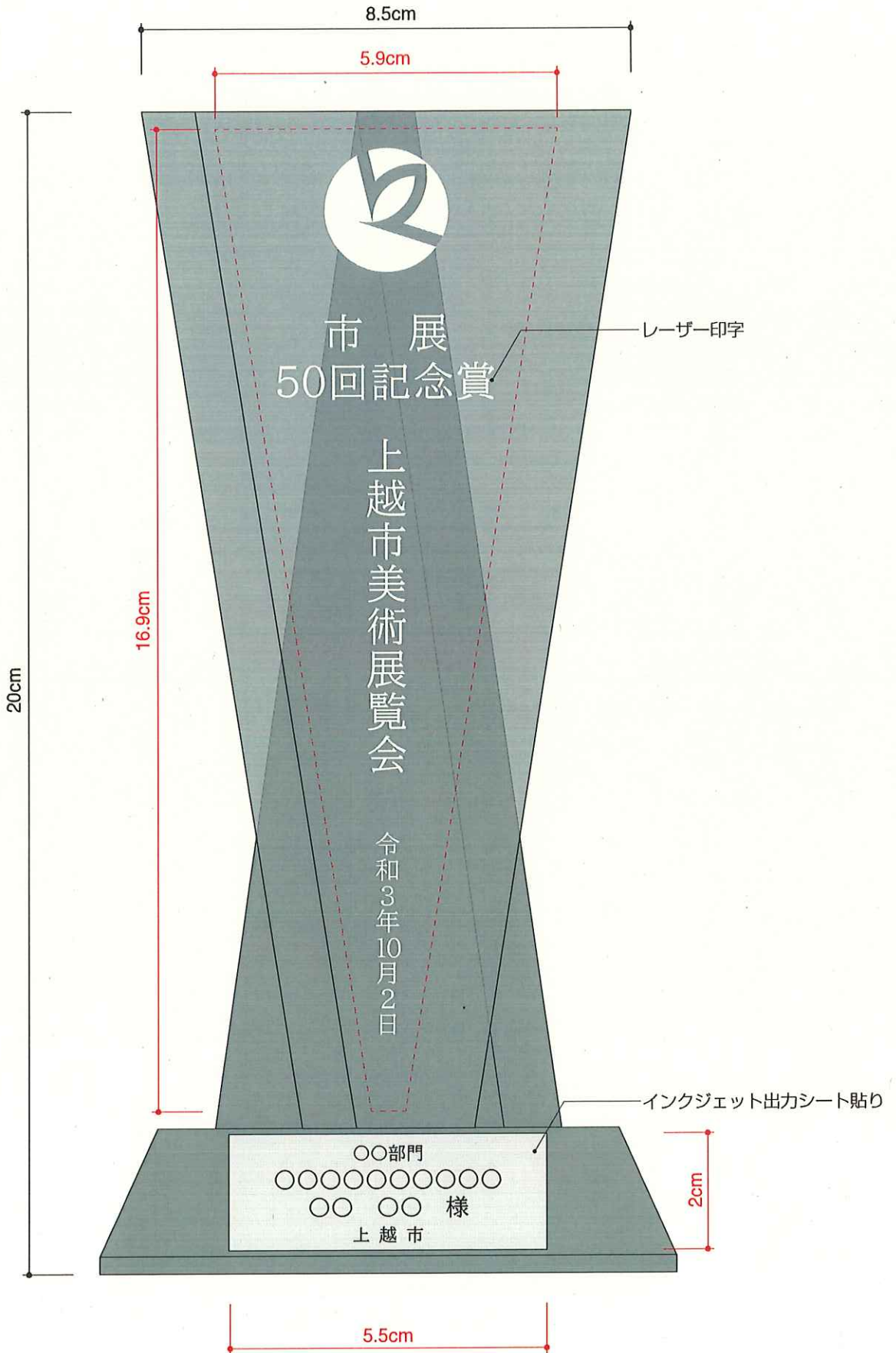
- ・市展50回記念賞 部門ごとに1点
 - ・優秀賞 全体で6点以内
 - ・奨励賞 全体で19点以内
 - ・新潟日報美術振興賞 部門ごとに1点。(ただし、出品者数20人以上の部門が対象)
- } ※予算を基に（案）として提示する点数

■佳作数

出品者数に対し、5.0%から10.0%程度を基本とする。

部 門		出品者数 A	入賞				佳作		
			点数（案）				合計 B	点数（案） C	佳作率 C/A
			市展50回 記念賞	優秀賞	奨励賞	日報賞			
1	日 本 画	9	1				1	11.1%	
2	洋画・版画	109	1			1	11	10.1%	
3	彫刻・立体造形	11	1				1	9.1%	
4	工芸・ グラフィックデザイン	23	1			1	2	8.7%	
5	書 道	49	1			1	5	10.2%	
6	写 真	74	1			1	8	10.8%	
合 計		275	6			4	28	10.2%	

○クリスタル製賞牌



作品審査

作品審査概要（応募要項へ記載）

日 時	9月23日（木・祝）	14:30～16:30	審査【彫刻・立体造形部門】
	25日（土）	13:30～14:00 14:00～16:30 16:30～21:00	審査準備 審査【彫刻・立体造形部門を除く5部門】 作品展示
審 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査中は一般の方は入場できません。 ・ 審査結果は「審査結果通知はがき」にて、すべての審査終了後5日間程度で本人あてに通知します。（電話やメールでの問合せには、お答えできません。） ・ 入賞、入選作品一覧は上越市ホームページへ掲載します。 ・ 入選証の交付はいたしません。 ・ 審査及び展示について、出品者は異議を申し立てることができません。 ・ 指導者の指導過多と認められる場合は、入選あるいは入賞を取り消すことがあります。 		
	入 賞	入選作品で優秀なものには市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞を贈呈します。	
	佳 作	入賞作品（市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞）を除く入選作品の中から、優れた作品を佳作として認定します。ただし、佳作は入賞歴に含みません。	
	講 評	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、 今年度は実施しません。	
審 査 員	日 本 画	倉島 重友（日本美術院同人、広島市立大学名誉教授）	
	洋 画 ・ 版 画	藤嶋 俊會（美術評論家）	
	彫 刻 ・ 立 体 造 形	中村 義孝（一陽会運営委員、筑波大学名誉教授）	
	工芸・グラフィックデザイン	太田 公典（瀬戸陶芸協会会長、愛知県立芸術大学名誉教授）	
	書 道	岡村 鉄琴（越佐文人研究会代表、新潟大学教授）	
	写 真	林 義勝（日本写真家協会会員）	

作品審査体制 ※敬称略

区分	日本画	洋画・版画	彫刻・立体造形	工芸・GD	書道	写真	役割
審査員	倉島 重友	藤嶋 俊會	中村 義孝	太田 公典	岡村 鉄琴	林 義勝	作品審査、原稿作成
運営委員	洞谷 亜里佐 小林 充也	筑波 進 五十嵐 正	松尾 大介	大藏 豊彦 期天	押木 秀樹 山田 真一	藤野 正二 関 敏雄	審査の進行、展示位置の指示
市職員	小嶋課長 宮澤主事	村山係長 梅澤職員	村山係長 川澄主事	佐藤主任	久保田主任	福山副課長 川澄主事	審査結果記録、入賞者報告、展示など
審査補助員 (委託)	1	4	0	2	3	4	落選作品移動、 作品配置換え、展示

齋藤委員におかれましては、「新潟日報美術振興賞」に関係する部門を中心に審査状況の確認をお願いします。

●講評原稿の作成について

下記内容を記した依頼文及び前回出品目録を用意しますので、審査員の方へお渡しください。

審査員講評の作成のお願い

見 本

出品作品に関する審査員の先生方の審査講評を、市展会期中に来場者等へ配布する「出品目録」に掲載するため、下記により作成くださいますようお願いいたします。

記

■講評の内容は、次のことを中心に作成してください。

- ・担当部門の全体講評
- ・市展賞ほか、主な受賞作品についての印象、選定理由
- ・出品者及び市展への今後の期待 など

■文字数等

- ・別紙原稿用紙 2 枚程度でお願いします。(800 字程度)
- ・記入は、縦書きで文章は、「です。ます。」調でお願いします。

■その他

- ・審査終了後、執筆いただき、17 時 30 分までに担当職員にお渡しください。
- ・執筆は、同封の原稿用紙にご記入いただくか、各会場に設置されているパソコンを使い入力してください。
- ・前回の出品目録を参考に添付いたします。

市制施行 50 周年 第 50 回記念上越美術展覧会講評用紙（運営委員用）

（ ） 部門 運営委員氏名

お疲れの所恐縮ですが、簡潔にお聞かせ願います。

また、日程の都合上、9月27日（月）までに市展事務局（上越市教育委員会社会教育課）へ提出をお願いします。（FAX：025-545-9272）

※記載出来ない箇所は空欄で結構です。

※記入スペースが足りない場合は、裏面をお願いします。

- 1 今年の出品状況について
- 2 作品の目立った傾向について
- 3 審査時の問題点（良かった点、困った点）等
- 4 特に関心を持った作品とその理由
- 5 出品者に対する来年度以降に対しての希望、要望など
- 6 委員会としての反省、改善点（会場設営、受付、展示など）
- 7 市展の将来の進むべき方向性についての感想
- 8 その他（感じたことを聞かせて下さい）